

新たな学校施設づくりのアイデア集

～充実した教育活動と豊かな学校生活のために～

平成22年1月



文部科学省

～新たな時代の学校施設づくりに向けて～

今年度から全国の小学校・中学校において、新しい学習指導要領の一部が先行実施され、21世紀を生きる子どもたちのための学校教育が始められています。

また、近年、学校についても地球温暖化対策をはじめとする環境配慮が求められており、さらに、学校、家庭、地域の連携がこれまで以上に重要になるなど、学校施設を取り巻く社会状況が変化しています。

このような状況の下、学校施設の整備に当たっては、学校施設に求められている学習活動円滑化や環境配慮、地域との連携といった機能を高めるため、関係者が十分に話し合って整備を進めていくことが重要です。

こういった検討に際しては、新たな時代の学校教育等に対応するため、既成の学校施設の形態の枠にとらわれず、実情に応じ、柔軟な発想を含めた検討が有効であると考えられます。

そこで、これまで実際に整備された学校の中から、新しい工夫があり他の学校にも参考になると思われる施設的な提案について、情報提供をすることとし、小中学校の施設を新增改築、あるいは大規模な改修をするときに、関係者にとって参考になると思われる30のアイデアを集めました。

このアイデア集の対象としては、教職員、保護者、地域住民、教育委員会、地方公共団体の建設担当部局、設計事務所などを想定しています。

学校の設計をするときに勘案すべき条件は、当該学校の教育目標、教育課程、特色ある活動、規模、立地・気候、敷地周囲の状況、地域連携の状況などたくさんあります。

この冊子の各アイデアは、実例に基づくものですが、ある条件の下で最も適切なものとして設計されたものです。そのため、そのアイデアがねらう同様な効果を得るためには、当該学校の状況に応じたより適切な方策を見つける必要があります。

また、実際の設計では、実現したいことに優先順位を付け、限られた面積や予算の中に可能な範囲で当てはめていかなければならないのが通常です。

このため、このアイデア集の各アイデアがそのまま、どの学校にも導入できるわけではないこと、また、30のアイデア全部を採用するのは難しいこと、といった本アイデア集の性格をご理解の上ご活用いただき、豊かな教育環境づくりを進めていただくことを期待しています。

このアイデア集の作成に当たっては、学校長、教育学の専門家、建築学の専門家、教育委員会の施設担当者などからなる会議で議論の上取りまとめております。

関係各位の御協力に深く感謝いたします。

I. はじめに

1. 背景－ 21 世紀の教育の考え方	1
2. これからの学校づくり	2
3. 学校施設の耐震化の推進等	3
4. 本アイデア集について	3
本アイデア集の使い方	4

II. 新たな学校づくりのアイデア例

新しい教育への対応

確かな学力

児童生徒の自主的な学習活動を支える空間

1. クラスルームでできることを増やす	9
2. 複数のクラスでフロアをのびやかに使う	11
3. すぐに集まったり分かれたり	13
4. 教科学習の魅力を高める	15

観察・実験、体験活動の充実のための空間

5. ゆとりあるスペースで多様な体験やものづくり	17
6. いつでも本が手に取れる	19
7. ICTで学習活動が広がる	21
8. ここに行けば作品が見られる	23

児童生徒の表現力を育む活動を支える空間

9. 大階段が劇場に	25
10. 外国語にもっと親しむ	27

豊かな心

児童生徒、先生の交流を生む空間

11. 子どもたちを気持ちよく迎え入れる	31
12. 学校中が出会いの場	33
13. 心地よいトイレや手洗い	35
14. 先生がもっと身近に	37

豊かな芸術空間

15. 晴れの舞台を作る	39
16. 自分たちの作品が学校を飾る	41

健やかな体

日常的な体力づくりを支える空間

17. 校内どこでも気軽に体力づくり	43
18. 思いきり運動できるスペース	45

食育の充実のための空間

19. 調理する・食べるがワンフロアで	47
---------------------------	----

今日的課題への対応

環境との関わり

環境教育をすすめる空間

20. 学校全体が環境教育の教材	51
------------------------	----

快適な学習・生活環境づくり

21. まぶしくない、暑くない教室	53
22. 風が通るさわやかな教室	55
23. 木の学校で学ぶ	57
24. 豊かな緑にかこまれながら	59

長く使い続ける

25. 地域性を活かしたデザイン	61
26. 長く使い続けられる学校	63

地域との関わり

地域の力を最大限に活かす学校づくり

27. 地域みんなで子どもを守る	65
28. 何かができる、みんなに会える	67

新たな公共施設としての学校

29. 学校をまちづくりの拠点に	69
30. 体を動かしに学校へ行く	71

III. 改修による学校施設の再生の例

古い学校を安全・安心な校舎に

事例 1 耐震化等の安全性の向上と教育環境の改善	75
事例 2 安心な空間を作ろう	76

快適な学習空間に

事例 3 自然光で明るい学校にする	77
事例 4 過ごしやすく快適な室内環境	78
事例 5 あたたかみと潤いのある空間に	79

余裕空間の活用

事例 6 より多様な学習空間を	80
事例 7 誰もが足を運ぶ地域の拠点	81

改修で学校はこんなに変わる！

事例 8 空間の可能性を広げる	82
事例 9 心安らぐ場所を作ろう	83
事例 10 地域の顔として生まれ変わる学校	84

参考資料

参考 1 学校施設の在り方に関する調査研究について	87
参考 2 新学習環境ワーキンググループ委員名簿	90
参考 3 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議検討経緯 (小中学校施設部会 新学習環境ワーキンググループ関連)	91
参考 4 施設整備事業の概要	92

I はじめに

1. 背景 - 21 世紀の教育の考え方

新しい学習指導要領に係る経緯

平成 17 年 2 月に、文部科学大臣から、21 世紀を生きる子どもたちの教育の充実を図るため、教員の資質・能力の向上や教育条件の整備などと併せて、国の教育課程の基準全体の見直しについて検討するよう中央教育審議会に対して要請があり、同年 4 月から審議が開始されました。この間、教育基本法改正、学校教育法改正が行われ、知・徳・体のバランス（教育基本法第 2 条第 1 号）とともに、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を重視し（学校教育法第 30 条第 2 項）、学校教育ではこれらを調和的にはぐくむことが必要である旨が法律上規定されました。中央教育審議会では、このような教育の根本にさかのぼった法改正を踏まえた審議が行われ、2 年 10 か月にわたる審議の末、平成 20 年 1 月に「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」答申が行われました。

この答申では、上記のような児童生徒の課題を踏まえ、

- ① 改正教育基本法等を踏まえた学習指導要領改訂
- ② 「生きる力」という理念の共有
- ③ 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- ④ 思考力・判断力・表現力等の育成

- ⑤ 確かな学力を確立するために必要な授業時数の確保
 - ⑥ 学習意欲の向上や学習習慣の確立
 - ⑦ 豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実
- を基本的な考え方として、各学校段階や各教科等にわたる学習指導要領の改善の方向性が示されました。

この答申を踏まえ、平成 20 年 3 月 28 日に学校教育法施行規則が改正されるとともに、幼稚園教育要領、小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領が公示されました。小学校学習指導要領は、平成 21 年 4 月 1 日から移行措置として算数、理科等を中心に内容を前倒して実施するとともに、平成 23 年 4 月 1 日から全面实施することとしています。

21 世紀の教育の考え方

「小学校学習指導要領解説 総則編」（平成 20 年 6 月）では、21 世紀の教育の考え方について、以下のように記述しています。

「21 世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代であると言われている。このような知識基盤社会化やグローバル化は、アイデアなど知識そのものや人材をめぐる国際競争を

加速させる一方で、異なる文化や文明との共存や国際協力の必要性を増大させている。このような状況において、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」をはぐくむことがますます重要になっている。」

今後、上記の考え方のもと、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」をはぐくむため、多様な教育課題に対応するとともに、一人一人の子どもに教員が向き合う環境づくりの観点から、きめ細かな対応ができる環境を実現するなど、質の高い教育を目指し条件整備を図る必要があります。

2. これからの学校づくり

基本的な考え方

学校施設は、質の高い教育を実現するための重要な教育条件の 1 つであり、学校で行われるあらゆる活動の基盤となるものです。21 世紀の教育に求められる「生きる力」をはぐくむためには、学校施設についても、子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場としてふさわしいものとなるよう、環境改善に取り組むことが求められます。特に、これからの学校づくりでは、各地域・学校の多様な教育目標・活動を支え、促進するため、これまで以上に地域や学校関係者との協力のもとで計画・設計を進めていくことが求められます。

確かな学力の確立に向けた対応

学習指導要領においては、「確かな学力」の確立として、「読み・書き・計算」など

の基礎的・基本的な知識・技能は、例えば、小学校低・中学年では、体験的な理解や繰り返し学習を重視するなど、発達の段階に応じて徹底して習得させ、学習の基礎を構築していくことを重視しています。また、思考力・判断力・表現力をはぐくむため、観察・実験、レポートの作成、論述など知識・技能を活用する学習活動を発達の段階に応じ充実させています。

これらの活動を支える空間としては、児童生徒の自主的な学習活動を支える空間や観察・実験、体験活動の充実のための空間、児童生徒の表現力をはぐくむ活動を支える空間などが考えられます。

豊かな心を育成するための施設づくり

学習指導要領においては、「豊かな心」の育成として、言語の能力の重視や体験活動の充実により、他者、社会、自然・環境とかかわる中で、これらとともに生きる自分への自信を持たせることを重視しています。また、基本的な生活習慣を確立させるとともに、社会生活を送る上で人間として持つべき最低限の規範意識を身に付けさせる観点から、道徳教育を改善・充実させています。

これらの学習活動を支える空間としては、児童生徒同士の交流を生む空間や豊かな芸術空間などが考えられます。

健やかな体をはぐくむ施設づくり

学習指導要領においては、「健やかな体」の育成として、運動を通じて体力を養うとともに、望ましい食習慣など健康的な生活習慣を育成することを重視しています。

これらの学習活動を支える空間として

は、日常的な体力づくりや食育の充実のための空間などが考えられます。

今日的課題への対応

近年、地球温暖化などの地球規模の環境問題が世界共通の課題として提起されています。このような中、学校施設についても、地球環境の保全を進める観点やエネルギーの効率的利用を図る観点が、ますます重要になってきています。

また、近年は、地域における教育力の低下が問題視されており、学校と地域の連携を推進する様々な取り組みが行われているところです。学校施設においても、地域コミュニティの拠点として、学校施設のより一層の活用を図るなど地域と連携した施設とすることが求められています。

3. 学校施設の耐震化の推進等

耐震化の推進等

学校施設の耐震化については、学校施設が児童生徒の学習・生活の場であるとともに、災害時の地域の人たちの応急避難場所としての役割も果たすものであることから、早急な対応が求められています。

また、地球環境問題は、人類の将来の生存と繁栄にとって緊急かつ重要な課題です。学校においても、地球環境問題に対応するため、環境負荷の軽減や自然との共生、また環境教育に役立てる観点から、学校施設のエコ化が求められています。

教育環境の総合的な向上

学校施設の喫緊の課題への対応として、

耐震化、エコ化等を一体的に推進することで、安全・安心で環境にやさしい学校づくりにつながります。

また、耐震化やエコ化等とあわせ、教育内容・教育方法等の変化への対応として、少人数指導のための小空間を設けるなど、教育環境を総合的に向上させることが期待されています。

4. 本アイデア集について

本アイデア集のねらい

本アイデア集は、学習環境づくりの先進的なアイデアの例について、広く学校関係者に情報提供を行うことを目的としています。このため、可能な限り計画・設計の専門的な表現は用いず、一般的な表現で、写真やイラスト等によりわかりやすく解説しています。

また、取りまとめに当たっては、教育基本法等の改正を踏まえた新たな教育のための学校施設の在り方に関する検討を行うとともに、耐震化やエコ改修の機会を最大限活用できるよう、既存建物への適用を考慮しました。

なお、ここに示すアイデアは、学習環境の向上に資するアイデアの一例であり、網羅的に示しているものではありません。本アイデア集を参考に、個々の学校や地域の実情に応じた様々なアイデアが創造され、学習環境の向上につながることを期待します。

本アイデア集の使い方

ここに示された学習環境の向上に資するアイデアについては、その全てを実現することを想定しているものではありません。

本アイデア集は、学校が抱えている課題について、教職員や保護者を含む学校関係者がその解決策を検討する中で、例えば「こんな教育がしたいのに、そのために必要な空間のイメージが湧かない」「今ある学校の施設的な課題を解決したいのに改善方法が浮かばない」といった場合に、ヒントを得るための参考資料として活用いただくことを企図したものです。

本アイデア集は、新增築や改築はもとより既存学校の改修においても参考になるとと思われる30のアイデアと、それらのアイデアを活用した10の改修事例で構成されており、それぞれのページ構成は以下の通りです。

II. 新たな学校づくりのアイデア例

期待される効果：実現できる教育活動・方法を具体的に示しています。

アイデアの要点：空間の特徴・意義、また、導入による教育面の効果・意義を解説しています。



計画のポイント：アイデアを実現するための設計・計画上の留意点を具体的に示しています。

イラスト、写真等：空間のイメージを分かりやすく示しています。

補足説明：配慮したい補足事項や代替案を示しています。

効果的に利用するための注意点：実施する際の課題とその対応策を示しています。

III. 改修による学校施設の再生の例

改修のねらい：改修の目的と工夫した点を示しています。

引用：該当するアイデアを示しています。

具体的事例：写真等により改修内容を分かりやすく示しています。



アイデア	ページ	どの空間のアイデアか											改修向きか		
		全体	教室	図書室	ランチルーム	多目的室等	体育館	職員室	トイレ	階段廊下	設備	屋外			
1. クラスルームでできることを増やす	9		●												○
2. 複数のクラスでフロアをのびやかに使う	11	●	●												
3. すぐに集まったり分かれたり	13		●												○
4. 教科学習の魅力を高める	15	●	●												
5. ゆとりあるスペースで多様な体験やものづくり	17		●												○
6. いつでも本が手に取れる	19	●		●		●									
7. ICTで学習活動が広がる	21		●								●				◎
8. ここに行けば作品が見られる	23		●			●									◎
9. 大階段が劇場に	25									●					
10. 外国語にもっと親しむ	27		●												◎
11. 子どもたちを気持ちよく迎え入れる	31													●	◎
12. 学校中が出会いの場	33									●					◎
13. 心地よいトイレや手洗い	35								●						◎
14. 先生がもっと身近に	37							●							◎
15. 晴れの舞台を作る	39				●	●								●	
16. 自分たちの作品が学校を飾る	41					●				●					◎
17. 校内どこでも気軽に体力づくり	43	●												●	◎
18. 思いきり運動できるスペース	45						●								○
19. 調理する・食べるがワンフロアで	47				●										
20. 学校全体が環境教育の教材	51	●									●	●			◎

アイデア	ページ	どの空間のアイデアか											改修向きか		
		全体	教室	図書室	ランチルーム	多目的室等	体育館	職員室	トイレ	階段廊下	設備	屋外			
21. まぶしくない、暑くない教室	53		●												○
22. 風が通るさわやかな教室	55		●											●	○
23. 木の学校で学ぶ	57	●	●												○
24. 豊かな緑にかこまれながら	59	●												●	◎
25. 地域性を活かしたデザイン	61	●													○
26. 長く使い続けられる学校	63	●	●												
27. 地域みんなで子どもを守る	65	●													
28. 何かができる、みんなに会える	67	●												●	○
29. 学校をまちづくりの拠点に	69	●		●											
30. 体を動かさに学校へ行こう	71	●								●					

事例	ページ	該当するアイデア番号
1. 耐震化等の安全性の向上と教育環境の改善	75	2, 23
2. 安心な空間を作ろう	76	11
3. 自然光で明るい学校にする	77	21
4. 過ごしやすく快適な室内環境	78	22
5. あたたかみと潤いのある空間に	79	23
6. より多様な学習空間を	80	5, 6, 7
7. 誰もが足を運ぶ地域の拠点	81	28, 29
8. 空間の可能性を広げる	82	2, 23
9. 心安らく場所を作ろう	83	12, 13
10. 地域の顔として生まれ変わる学校	84	23, 28

